

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041001	●中国語Ⅰ(L1・L2)	和	E	高 芳	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041002	●中国語Ⅰ(L3・L4)	和	E	趙紅 林	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041003	●中国語Ⅰ(E(中4))	和	E	高 芳	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041004	●中国語Ⅰ(E(中1))	和	E	劉愛 莉	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041005	●中国語Ⅰ(E(中2))	和	E	王 迪	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041006	●中国語Ⅰ(E(中3))	和	E	楊曉 安	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041007	●中国語 Ⅰ(D(中1))_F(中2))	和	E	趙紅 林	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041008	●中国語 Ⅰ(P1・P2_D(中2))	和	E	楊曉 安	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041009	●中国語Ⅰ(F(中1))	和	E	劉愛 莉	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041010	●中国語Ⅰ(T(中5))	和	E	陳振 華	1年,2年,3年,4年	前期	水 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590041011	●中国語Ⅰ(L5・L6)	和	E	陳振 華	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2014年度	教養教育									

シラバス一覧

シラバス (教養教育科目)	育・教養教育 中国語	20140590041012	●中国語Ⅰ(M1～M3)	和	E	劉愛莉	1年,2年,3年,4年	前期	水2	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041013	●中国語Ⅰ(M4～M6)	和	E	趙紅林	1年,2年,3年,4年	前期	水2	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041014	●中国語Ⅰ(T(中2))	和	E	劉愛莉	1年,2年,3年,4年	前期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041015	●中国語Ⅰ(E(中5)_K(中2))	和	E	楊曉安	1年,2年,3年,4年	前期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041016	●中国語Ⅰ(T(中1))	和	E	趙紅林	1年,2年,3年,4年	前期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041017	●中国語Ⅰ(T(中3))	和	E	周国強	1年,2年,3年,4年	前期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041018	●中国語Ⅰ(T(中4))	和	E	周国強	1年,2年,3年,4年	前期	水4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041019	●中国語Ⅰ(K(中1))	和	E	高季文	1年,2年,3年,4年	前期	木3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041020	●中国語Ⅰ(T(中6))	和	E	高山乾忠	1年,2年,3年,4年	前期	金4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041021	●中国語Ⅰ(G(中1))	和	E	楊曉安	1年,2年,3年,4年	後期	火4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590041022	●中国語Ⅰ(G(中2))	和	E	連清吉	1年,2年,3年,4年	後期	火4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590043001	●中国語Ⅱ(L1・L2)	和	E	高芳	1年,2年,3年,4年	後期	月3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590043002	●中国語Ⅱ(L3・L4)	和	E	趙紅林	1年,2年,3年,4年	後期	月3	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590043003	●中国語Ⅱ(E(中4))	和	E	高芳	1年,2年,3年,4年	後期	月4	～
2014年度 シラバス (教養教育科目)	教養教育・教養教育 中国語	20140590043004	●中国語Ⅱ(E(中1))	和	E	劉愛莉	1年,2年,3年,4年	後期	火3	～

シラバス一覧

2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043005	●中国語Ⅱ(E(中2))	和	E	王迪	1年,2年,3年,4年	後期	火3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043006	●中国語Ⅱ(E(中3))	和	E	楊曉安	1年,2年,3年,4年	後期	火3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043007	●中国語Ⅱ(G(中1))	和	E	楊曉安	1年,2年,3年,4年	後期	水4	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043008	●中国語Ⅱ(D(中1)_F(中2))	和	E	趙紅林	1年,2年,3年,4年	後期	水1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043009	●中国語Ⅱ(P1・P2_D(中2))	和	E	楊曉安	1年,2年,3年,4年	後期	水1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043010	●中国語Ⅱ(F(中1))	和	E	劉愛莉	1年,2年,3年,4年	後期	水1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043011	●中国語Ⅱ(T(中5))	和	E	陳振華	1年,2年,3年,4年	後期	水1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043012	●中国語Ⅱ(L5・L6)	和	E	陳振華	1年,2年,3年,4年	後期	水2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043013	●中国語Ⅱ(M1～M3)	和	E	劉愛莉	1年,2年,3年,4年	後期	水2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043014	●中国語Ⅱ(M4～M6)	和	E	趙紅林	1年,2年,3年,4年	後期	水2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043015	●中国語Ⅱ(T(中2))	和	E	劉愛莉	1年,2年,3年,4年	後期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043016	●中国語Ⅱ(E(中5)_K(中2))	和	E	楊曉安	1年,2年,3年,4年	後期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043017	●中国語Ⅱ(T(中1))	和	E	趙紅林	1年,2年,3年,4年	後期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 科目)	20140590043018	●中国語Ⅱ(T(中3))	和	E	周国強	1年,2年,3年,4年	後期	水3	～

シラバス一覧

2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590043019	●中国語Ⅱ(G(中2))	和	E	連清吉	1年,2年,3年,4年	後期	水3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590043020	●中国語Ⅱ(T(中4))	和	E	周国強	1年,2年,3年,4年	後期	水4	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590043021	●中国語ⅡK(中1)	和	E	高季文	1年,2年,3年,4年	後期	木3	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590043022	●中国語Ⅱ(T(中6))	和	E	高山乾忠	1年,2年,3年,4年	後期	金4	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045001	●中国語Ⅲ(2M1～2M3)	和	E	高芳	2年,3年,4年	前期	月2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045002	●中国語Ⅲ(2T(中5))	和	E	趙紅林	2年,3年,4年	前期	月2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045003	●中国語Ⅲ(2T(中1))	和	E	陳振華	2年,3年,4年	前期	火1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045004	●中国語Ⅲ(2T(中2))	和	E	張美玉	2年,3年,4年	前期	火1	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045005	●中国語Ⅲ(2T(中3))	和	E	陳振華	2年,3年,4年	前期	火2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045006	●中国語Ⅲ(2T(中4))	和	E	張美玉	2年,3年,4年	前期	火2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045007	●中国語Ⅲ(2T(中6)_2D1・2D2)	和	E	王迪	2年,3年,4年	前期	火2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045008	●中国語Ⅲ(2K1・2K2)	和	E	劉愛莉	2年,3年,4年	前期	火2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045009	●中国語Ⅲ(2K3・2K4)	和	E	楊曉安	2年,3年,4年	前期	火2	～
2014年度 シラバス (教養教育 中国語 教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045010	●中国語Ⅲ(2E(中2))	和	E	高季文	2年,3年,4年	前期	木2	～
2014年度 シラバス	教養教育-教養教育					楊曉		前		

シラバス一覧

(教養教育科目)	育 中国語	20140590045011	●中国語Ⅲ(2E(中3))	和	E	安	2年,3年,4年	期	木 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045012	●中国語Ⅲ(2E(中4))	和	E	賀 南	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045013	●中国語Ⅲ(2E(中5))	和	E	祁 建民	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045014	●中国語Ⅲ(2L1～2L3_2E(中6))	和	E	高山 乾忠	2年,3年,4年	前期	金 1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045015	●中国語Ⅲ(2E(中1))	和	E	高山 乾忠	2年,3年,4年	前期	金 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045016	●中国語Ⅲ(2P1・2P2_2F(中2))	和	E	祁 建民	2年,3年,4年	前期	金 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590045017	●中国語Ⅲ(2F(中1))	和	E	賀 南	2年,3年,4年	前期	金 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047001	●中国語Ⅳ(2M1～2M3)	和	E	高 芳	2年,3年,4年	後期	月 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047002	●中国語Ⅳ(2T(中5))	和	E	趙 紅林	2年,3年,4年	後期	月 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047003	●中国語Ⅳ(2T(中1))	和	E	陳 振華	2年,3年,4年	後期	火 1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047004	●中国語Ⅳ(2T(中2))	和	E	張 美玉	2年,3年,4年	後期	火 1	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047005	●中国語Ⅳ(2T(中3))	和	E	陳 振華	2年,3年,4年	後期	火 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047006	●中国語Ⅳ(2T(中4))	和	E	張 美玉	2年,3年,4年	後期	火 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047007	●中国語Ⅳ(2T(中6)_2D1・2D2)	和	E	王 迪	2年,3年,4年	後期	火 2	～
2014年度シラバス(教養教育科目)	教養教育-教養教育 中国語	20140590047008	●中国語Ⅳ(2K1・2K2)	和	E	劉 愛莉	2年,3年,4年	後期	火 2	～

育科目)	語										
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047009	●中国語IV(2K3・2K4)	和	E	楊 曉 安	2年,3年,4年	後 期	火 2	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047010	●中国語IV(2E(中2))	和	E	高 季 文	2年,3年,4年	後 期	木 2	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047011	●中国語IV(2E(中3))	和	E	張 美 玉	2年,3年,4年	後 期	木 2	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047012	●中国語IV(2E(中4))	和	E	賀 南	2年,3年,4年	後 期	金 1	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047013	●中国語IV(2E(中5))	和	E	祁 建 民	2年,3年,4年	後 期	金 1	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047014	●中国語 IV(2L1~2L3_2E(中6))	和	E	高 山 乾 忠	2年,3年,4年	後 期	金 1	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047015	●中国語IV(2E(中1))	和	E	賀 南	2年,3年,4年	後 期	金 2	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047016	●中国語 IV(2P1・2P2_2F(中2))	和	E	高 山 乾 忠	2年,3年,4年	後 期	金 2	~	
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育- 中国語	20140590047017	●中国語IV(2F(中1))	和	E	祁 建 民	2年,3年,4年	後 期	金 2	~	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041001	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(L1・L2)		
編集担当教員	高 芳		
授業担当教員名(科目責任者)	高 芳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 芳		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	g_fangyuan@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-6264-6497		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041002	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(L3・L4)		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“、那、个、那个、些、那些”/ 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」/ 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041003	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(E(中4))		
編集担当教員	高 芳		
授業担当教員名(科目責任者)	高 芳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 芳		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	g_fangyuan@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-6264-6497		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
	8	第5課から第6課までのまとめ
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
	11	第7課から第8課までのまとめ
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
	14	第9課から第10課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041004	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(E(中1))		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041005	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(E(中2))		
編集担当教員	王 迪		
授業担当教員名(科目責任者)	王 迪		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	王 迪		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	wd2000jp@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-9400-6402		
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041006	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(E(中3))		
編集担当教員	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火の4校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041007	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(D(中1))_F(中2))		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041008	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語 I (P1・P2_D(中2))		
編集担当教員	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館 1 階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火の 4 校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041009	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(F(中1))		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041010	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(T(中5))		
編集担当教員	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00~15:00		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041011	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(L5・L6)		
編集担当教員	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12：00～15：00		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
	8	第5課から第6課までのまとめ
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
	11	第7課から第8課までのまとめ
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
	14	第9課から第10課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041012	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(M1～M3)		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041013	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(M4～M6)		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041014	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(T(中2))		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041015	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(E(中5)_K(中2))		
編集担当教員	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火の4校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041016	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(T(中1))		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法 (学習指導法)	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041017	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(T(中3))		
編集担当教員	周 国強		
授業担当教員名(科目責任者)	周 国強		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	周 国強		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	zgg@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-813-5158		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
	8	第5課から第6課までのまとめ
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“、那、个、那个、些、那些”/ 「的」
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
	11	第7課から第8課までのまとめ
	12	第9課『你喝咖啡?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」/ 「怎么」
	13	第10課『 件毛衣怎么?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
	14	第9課から第10課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041018	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(T(中4))		
編集担当教員	周 国強		
授業担当教員名(科目責任者)	周 国強		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	周 国強		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	zgg@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-813-5158		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件 (履修条件)	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考 (URL)			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041019	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(K(中1))		
編集担当教員	高 季文		
授業担当教員名(科目責任者)	高 季文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 季文		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	jgypk388@ybb.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-843-3675		
担当教員オフィスアワー	木曜日 14:30-15:50		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041020	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(T(中6))		
編集担当教員	高山 乾忠		
授業担当教員名(科目責任者)	高山 乾忠		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 乾忠		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	takayama@wesleyan.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法(学習指導法)	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問 (20%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041021	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(G(中1))		
編集担当教員	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火の4校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト	
	6	第5課『你叫什么名字？』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方	
	7	第6課『你家有几口人？』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」	
	8	第5課から第6課までのまとめ	
	9	第7課『 是什么？』 文法：指示代名詞[1]“ 那、 个、 那个、 些、 那些” / 「的」	
	10	第8課『今年二〇一几年？』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞	
	11	第7課から第8課までのまとめ	
	12	第9課『你喝咖啡 ？』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎么」	
	13	第10課『 件毛衣怎么 ？』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金	
	14	第9課から第10課までのまとめ	
	15	総合復習	
	16	口頭試問	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書	
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。	
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）			
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590041022	科目番号	05900410
授業科目名	●中国語Ⅰ(G(中2))		
編集担当教員	連 清吉		
授業担当教員名(科目責任者)	連 清吉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	連 清吉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	lien@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部B405		
担当教員TEL	095-819-2741		
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	この授業はゼロからスタートする学生を対象とする。はじめに挨拶語をまじえながら中国語の発音とそのローマ字表記ピンインを習い、それからテキストに沿って初歩的な文法とさまざまな表現を勉強する。毎回の授業の冒頭に小テストを行い、前の時間に学んだことが修得できているかを確認する。		
	回	内容	
	1	第1課 発音(1) 四声/ 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)	
	2	第2課 発音(2) 轻声/ 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)	
	3	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)	
	4	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ	

授業内容	5	発音の復習 総合小テスト
	6	第5課『你叫什么名字?』 文法：判断動詞「是」/ 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
	7	第6課『你家有几口人?』 文法：家族の呼称 / 所有を表す「有」/ 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
	8	第5課から第6課までのまとめ
	9	第7課『 是什么?』 文法：指示代名詞[1]“、那、个、那个、些、那些”/ 「的」
	10	第8課『今年二〇一几年?』 文法：年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
	11	第7課から第8課までのまとめ
	12	第9課『你喝咖啡?』 文法：動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」/ 「怎么」
	13	第10課『 件毛衣怎么?』 文法：形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
	14	第9課から第10課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問(20%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043001	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(L1・L2)		
編集担当教員	高 芳		
授業担当教員名(科目責任者)	高 芳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 芳		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	g_fangyuan@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-6264-6497		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043002	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(L3・L4)		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-14		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043003	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(E(中4))		
編集担当教員	高 芳		
授業担当教員名(科目責任者)	高 芳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 芳		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	g_fangyuan@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-6264-6497		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043004	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(E(中1))		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:00~13:00非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」「能」「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」「喜」「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043005	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(E(中2))		
編集担当教員	王 迪		
授業担当教員名(科目責任者)	王 迪		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	王 迪		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	wd2000jp@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-9400-6402		
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043006	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(E(中3))		
編集担当教員	楊 暎安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暎安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暎安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043007	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(G(中1))		
編集担当教員	楊 暎安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暎安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暎安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」「能」「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」「喜」「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043008	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(D(中1)_F(中2))		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043009	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(P1・P2_D(中2))		
編集担当教員	楊 暎安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暎安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暎安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館 1 階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火曜日の 4 校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043010	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(F(中1))		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」「能」「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」「喜」「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043011	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(T(中5))		
編集担当教員	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043012	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(L5・L6)		
編集担当教員	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043013	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(M1～M3)		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」「能」「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」「喜」「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に付け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043014	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(M4～M6)		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043015	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(T(中2))		
編集担当教員	劉 愛莉		
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-32		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-887-3467		
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~13:00 非常勤講師室・要確認		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/ 方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/ 量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/ 連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043016	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(E(中5)_K(中2))		
編集担当教員	楊 暁安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-34		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部新館1階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」「能」「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」「喜」「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043017	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(T(中1))		
編集担当教員	趙 紅林		
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	050-6621-0781		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043018	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(T(中3))		
編集担当教員	周 国強		
授業担当教員名(科目責任者)	周 国強		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	周 国強		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	zgg@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-813-5158		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043019	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(G(中2))		
編集担当教員	連 清吉		
授業担当教員名(科目責任者)	連 清吉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	連 清吉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-44		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	lien@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部B405		
担当教員TEL	095-819-2741		
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043020	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(T(中4))		
編集担当教員	周 国強		
授業担当教員名(科目責任者)	周 国強		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	周 国強		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	zgg@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-813-5158		
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“ 里、 儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜 」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043021	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語ⅡK(中1)		
編集担当教員	高 季文		
授業担当教員名(科目責任者)	高 季文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 季文		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-27		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	jgypk388@ybb.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-843-3675		
担当教員オフィスアワー	木曜日 14:30-15:50		
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590043022	科目番号	05900430
授業科目名	●中国語Ⅱ(T(中6))		
編集担当教員	高山 乾忠		
授業担当教員名(科目責任者)	高山 乾忠		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 乾忠		
科目分類	外国語科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-23		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	takayama@wesleyan.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー			
授業の概要及び位置づけ	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標	1.中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。2.中国語の音声表記（中国語ローマ字表記）をマスターする。3.基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。4.日本中国語検定試験準4級を目指す。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、原則として朗読と暗唱を活用することに重点をおく。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	発音練習を繰り返し行い、例文を補充して文法事項を説明し、本文内容の確認のように授業が進む。毎回の授業では口と耳を絶えず動かすようにする。具体的に言うと、まず聞き取り練習をして、達成感を味わってもらう。そして復習するために、プリントを出して、練習問題を通じて学んだ文法を固めてもらう。		
	回	内容	
	1	第11課『市立 在哪儿？』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」/方向や位置を表す語/指示代名詞[2]“里、儿;那里、那儿;哪里、哪儿”/量詞	
	2	第12課『你会开汽 ？』 文法：助動詞「会」・「能」・「可以」/連動文	
	3	第13課『你打算去哪儿？』 文法：助動詞「想」・「喜」・「打算」	
	4	第11課から第13課までのまとめ	

授業内容	5	第14課『你看 《三国演》 ？』 文法：アスペクト助詞「了・着・」
	6	第15課『明天几点出 ？』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
	7	第16課『你家离学校 ？』 文法：介詞「从・到・离」 / 「多～」
	8	第14課から第16課までのまとめ
	9	第17課『今天特别 』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
	10	第18課『桌子上有一本 本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
	11	第17課から第18課までのまとめ
	12	第19課『你的房 真干 』 文法：“把”構文/受身の表現 / 変化を表す「了」
	13	第20課『老 他去 了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 听
	14	第19課から第20課までのまとめ
	15	総合復習
	16	口頭試問
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書
	成績評価の方法・基準等	統一試験(50%)、口頭試問（20%）、小テスト・課題（20%）、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。
	受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045001	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2M1～2M3)										
編集担当教員	高 芳										
授業担当教員名(科目責任者)	高 芳										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 芳										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-23										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	g_fangyuan@yahoo.co.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	090-6264-6497										
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて随時・要確認										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』 場所について (2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』 時間について (1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』 時間について (2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』 趣味について (1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』 趣味について (2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』 気候について (1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』 気候について (2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』 スポーツについて (1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』 スポーツについて (2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045002	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2T(中5))										
編集担当教員	趙 紅林										
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	050-6621-0781										
担当教員オフィスアワー	授業前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『 方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」	2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『 方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」										
2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『 方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045003	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2T(中1))										
編集担当教員	陳 振華										
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-31										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047004	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2T(中2))										
編集担当教員	張 美玉										
授業担当教員名(科目責任者)	張 美玉										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	張 美玉										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	yrc210814@i.softbank.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業の前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不...了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045005	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2T(中3))										
編集担当教員	陳 振華										
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-31										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『 方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」	2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『 方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」										
2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『 方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045006	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2T(中4))										
編集担当教員	張 美玉										
授業担当教員名(科目責任者)	張 美玉										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	張 美玉										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-23										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	yrc210814@i.softbank.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業の前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「听(据) ...／听(据) ...」／「...」／「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現／会話② 文法：「不是...？」／「除了...」／所在動詞“在”と存在動詞“有”／方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現／会話① 文法：「不但..., 而且...」／「一...就...」／「先..., 然后...」／離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現／会話② 文法：結果補語／「从...到...」／「名詞+了」／「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現／会話① 文法：動量補語／時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現／会話② 文法：様態補語／アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現／会話① 文法：「因 ..., 所以...」／「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現／会話② 文法：「只有...才...」／動詞の重ね／四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現／会話① 文法：「正在...」／「...」／方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現／会話② 文法：「每と隔」／「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045007	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2T(中6)_2D1・2D2)										
編集担当教員	王 迪										
授業担当教員名(科目責任者)	王 迪										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	王 迪										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養B棟]B-34										
対象学生 (クラス等)											
担当教員Eメールアドレス	wd2000jp@yahoo.co.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	090-9400-6402										
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法 (学習指導法)	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『 方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」	2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『 方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」										
2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『 方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045008	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2K1・2K2)										
編集担当教員	劉 愛莉										
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-41										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	095-887-3467										
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00～13:00 非常勤講師室・要確認										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045009	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2K3・2K4)										
編集担当教員	楊 暁安										
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-13										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp										
担当教員研究室	環境科学部 1 階										
担当教員TEL	095-819-2166										
担当教員オフィスアワー	火曜日 4 校時										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と两」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と两」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と两」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045010	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2E(中2))										
編集担当教員	高 季文										
授業担当教員名(科目責任者)	高 季文										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 季文										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-42										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	jgypk388@ybb.ne.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	095-843-3675										
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045011	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2E(中3))										
編集担当教員	楊 暁安										
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暁安										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暁安										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-13										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp										
担当教員研究室	環境科学部 1 階										
担当教員TEL	095-819-2166										
担当教員オフィスアワー	火曜日 4 校時										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590045012	科目番号	05900450
授業科目名	●中国語Ⅲ(2E(中4))		
編集担当教員	賀 南		
授業担当教員名(科目責任者)	賀 南		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	賀 南		
科目分類	外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	carrieheegana@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-4489-9882		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」	
	2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]	
		第2課『 方位』 場所について(1)	

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045013	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2E(中5))										
編集担当教員	祁 建民										
授業担当教員名(科目責任者)	祁 建民										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	祁 建民										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-12										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	qjmjp@sun.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「毎と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045014	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2L1～2L3_2E(中6))										
編集担当教員	高山 乾忠										
授業担当教員名(科目責任者)	高山 乾忠										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 乾忠										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-24										
対象学生 (クラス等)											
担当教員Eメールアドレス	takayama@wesleyan.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法 (学習指導法)	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...」
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...」
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「毎と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045015	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2E(中1))										
編集担当教員	高山 乾忠										
授業担当教員名(科目責任者)	高山 乾忠										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 乾忠										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-24										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	takayama@wesleyan.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」	2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「と呢」/「二と兩」										
2	第1課『家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』場所について(2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』時間について(1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』時間について(2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』趣味について(1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』趣味について(2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』気候について(1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』気候について(2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』スポーツについて(1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』スポーツについて(2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590045016	科目番号	05900450								
授業科目名	●中国語Ⅲ(2P1・2P2_2F(中2))										
編集担当教員	祁 建民										
授業担当教員名(科目責任者)	祁 建民										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	祁 建民										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-12										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	qjmjp@sun.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2課『 方位』 場所について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」	2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]		第2課『 方位』 場所について(1)
回	内容										
1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」										
2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]										
	第2課『 方位』 場所について(1)										

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』 場所について (2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』 時間について (1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』 時間について (2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』 趣味について (1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』 趣味について (2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』 気候について (1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』 気候について (2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』 スポーツについて (1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』 スポーツについて (2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590045017	科目番号	05900450
授業科目名	●中国語Ⅲ(2F(中1))		
編集担当教員	賀 南		
授業担当教員名(科目責任者)	賀 南		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	賀 南		
科目分類	外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養B棟]B-15		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	carrieheegana@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-4489-9882		
担当教員オフィスアワー	授業前後		
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	概要：語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的 文法をしっかり身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第1課『 家庭』 家族について(1) 基本表現/会話① 文法：「 と呢」/「二と兩」	
	2	第1課『 家庭』 家族について(2) 基本表現/会話② 文法：比較の表現/“都不...”と“不都...” [閲読][中国的家庭 构(中国の家庭構造)]	
		第2課『 方位』 場所について(1)	

授業内容	3	基本表現/会話① 文法：「听(据) .../听(据) ...」 / 「 ...」 / 「既..., 又(也)...
	4	第2課『方位』 場所について (2) 基本表現/会話② 文法：「不是... ?」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 [閲読][我 学校(私たちの学校)]
	5	第3課『 』 時間について (1) 基本表現/会話① 文法：「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
	6	第3課『 』 時間について (2) 基本表現/会話② 文法：結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有 ..., 有 ...」 [閲読][我的一天(私の一日)]
	7	総合復習①
	8	第4課『好』 趣味について (1) 基本表現/会話① 文法：動量補語/時量補語
	9	第4課『好』 趣味について (2) 基本表現/会話② 文法：様態補語/アスペクト助詞「了・着・」 [閲読][好(趣味)]
	10	第5課『天气』 気候について (1) 基本表現/会話① 文法：「因 ..., 所以...」 / 「(虽然)..., 但是(可是)...
	11	第5課『天气』 気候について (2) 基本表現/会話② 文法：「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 [閲読][中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)]
	12	第6課『体育』 スポーツについて (1) 基本表現/会話① 文法：「正在...」 / 「 ...」 / 方向補語/可能補語
	13	第6課『体育』 スポーツについて (2) 基本表現/会話② 文法：「每と隔」 / 「想・喜・打算」 [閲読][球(卓球)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590047001	科目番号	05900470
授業科目名	●中国語Ⅳ(2M1～2M3)		
編集担当教員	高 芳		
授業担当教員名(科目責任者)	高 芳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 芳		
科目分類	外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-22		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	g_fangyuan@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	090-6264-6497		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	
	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]	
		第8課『 食』 飲食について(1)	

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047002	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2T(中5))										
編集担当教員	趙 紅林										
授業担当教員名(科目責任者)	趙 紅林										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	趙 紅林										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	honglin1-4@docomo.ne.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	050-6621-0781										
担当教員オフィスアワー	授業前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590047003	科目番号	05900470
授業科目名	●中国語IV(2T(中1))		
編集担当教員	陳 振華		
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華		
科目分類	外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後		
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法 (学習指導法)	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法:「...吧」/「...」/「或者」	
	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法:「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]	
		第8課『 食』 飲食について(1)	

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047004	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2T(中2))										
編集担当教員	張 美玉										
授業担当教員名(科目責任者)	張 美玉										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	張 美玉										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	yrc210814@i.softbank.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業の前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047005	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2T(中3))										
編集担当教員	陳 振華										
授業担当教員名(科目責任者)	陳 振華										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	陳 振華										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-41										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	chzh@hotmai.com										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」/程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047006	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2T(中4))										
編集担当教員	張 美玉										
授業担当教員名(科目責任者)	張 美玉										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	張 美玉										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	yrc210814@i.softbank.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー	授業の前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」/程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047007	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語IV(2T(中6)_2D1・2D2)										
編集担当教員	王 迪										
授業担当教員名(科目責任者)	王 迪										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	王 迪										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養B棟]B-44										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	wd2000jp@yahoo.co.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	090-9400-6402										
担当教員オフィスアワー	授業前、授業終了後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047008	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2K1・2K2)										
編集担当教員	劉 愛莉										
授業担当教員名(科目責任者)	劉 愛莉										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	劉 愛莉										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-31										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	kym_ar@hotmail.com										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	095-887-3467										
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00~13:00 非常勤講師室・要確認										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について(2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について(2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590047009	科目番号	05900470
授業科目名	●中国語Ⅳ(2K3・2K4)		
編集担当教員	楊 暎安		
授業担当教員名(科目責任者)	楊 暎安		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楊 暎安		
科目分類	外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養D棟]D-37		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部 1 階		
担当教員TEL	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー	火曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	
	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]	
		第8課『 食』 飲食について(1)	

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047010	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2E(中2))										
編集担当教員	高 季文										
授業担当教員名(科目責任者)	高 季文										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高 季文										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養D棟]D-27										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	jgypk388@ybb.ne.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	095-843-3675										
担当教員オフィスアワー	木曜日 14:30-15:50										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」/程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140590047011	科目番号	05900470
授業科目名	●中国語Ⅳ(2E(中3))		
編集担当教員	張 美玉		
授業担当教員名(科目責任者)	張 美玉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	張 美玉		
科目分類	外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教養A棟]A-31		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yrc210814@i.softbank.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。		
	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
	回	内容	
	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	
	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]	
		第8課『 食』 飲食について(1)	

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047012	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2E(中4))										
編集担当教員	賀 南										
授業担当教員名(科目責任者)	賀 南										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	賀 南										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-31										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	carrieheegana@yahoo.co.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	090-4489-9882										
担当教員オフィスアワー	授業前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047013	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2E(中5))										
編集担当教員	祁 建民										
授業担当教員名(科目責任者)	祁 建民										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	祁 建民										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	qjmjp@sun.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 1								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047014	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2L1～2L3_2E(中6))										
編集担当教員	高山 乾忠										
授業担当教員名(科目責任者)	高山 乾忠										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 乾忠										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-42										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	takayama@wesleyan.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047015	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2E(中1))										
編集担当教員	賀 南										
授業担当教員名(科目責任者)	賀 南										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	賀 南										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-31										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	carrieheegana@yahoo.co.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL	090-4489-9882										
担当教員オフィスアワー	授業前後										
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1. 内容は基本的にテキストにそって進める。2. 会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3. 各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践 会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一 」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047016	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2P1・2P2_2F(中2))										
編集担当教員	高山 乾忠										
授業担当教員名(科目責任者)	高山 乾忠										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高山 乾忠										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-42										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	takayama@wesleyan.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤講師控室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不 如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 中国語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金 2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20140590047017	科目番号	05900470								
授業科目名	●中国語Ⅳ(2F(中1))										
編集担当教員	祁 建民										
授業担当教員名(科目責任者)	祁 建民										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	祁 建民										
科目分類	外国語科目										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[教養A棟]A-14										
対象学生（クラス等）											
担当教員Eメールアドレス	qjmjp@sun.ac.jp										
担当教員研究室	非常勤室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスアワー											
授業の概要及び位置づけ	本講では中国語Ⅰと中国語Ⅱの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。										
授業到達目標	1.簡単な日常会話を話せるようにする。2.基本的な中国語を読めるようにする。3.基本的な中国語を書けるようにする。4.現代中国の文化や社会の一端を理解する。										
授業方法（学習指導法）	1.内容は基本的にテキストにそって進める。2.会話能力をより確実に身につけるために、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。3.各課の内容と関連ある文化的背景など説明し、学生からの質問を随時受ける。										
	<p>語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。基礎的文法をしっかりと身につけることもこの授業の目標である。また、中国語学習を通じて、視野を広め、中国文化への理解をより一層深めさせる。授業では、担当教員の指導の元で発音を十分マスターしたうえで、学生二人を一組とし、単語と本文の朗読・暗唱を行う。これを基礎に、テキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第8課『 食』 飲食について(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」	2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]		第8課『 食』 飲食について(1)
回	内容										
1	第7課『 旅游』 旅行について(1) 基本表現/会話① 文法：「...吧」/「...」/「或者」										
2	第7課『 旅游』 旅行について (2) 基本表現/会話② 文法：「跟(和、同)...一」/「不如此」/「没想到...」 [閲読][中国十大名 古迹(中国の十大名所旧跡)]										
	第8課『 食』 飲食について(1)										

授業内容	3	基本表現／会話① 文法：「越来越...」／「大概...吧」／「都＋疑問代名詞」／「几と多少」
	4	第8課『食』 飲食について (2) 基本表現／会話② 文法：「五、六」／「不是...，而是...」／「怪不得」 [閲読][中国的菜系(中国の料理)]
	5	第9課『交通』 交通について (1) 基本表現／会話① 文法：「...的」／「好＋動詞」／「就と才」
	6	第9課『交通』 交通について (2) 基本表現／会話② 文法：「既然...，就...」／「他 那儿」/使役の表現 [閲読][中国的交通(中国の交通)]
	7	総合復習①
	8	第10課『看病』 診察について (1) 基本表現／会話① 文法：「只要...，就...」／「除非...，否 ...」／「一来...，二来...」
	9	第10課『看病』 診察について (2) 基本表現／会話② 文法：「即使...，也...」／「比如」／連動文 [閲読][中国医院的分 (中国の病院の等級付け)]
	10	第11課『物』 買い物について (1) 基本表現／会話① 文法：「と」／「...也...」
	11	第11課『物』 買い物について (2) 基本表現／会話② 文法：「再...也(都)...」／「不 ... 了」/結構助詞「的・地・得」 [閲読][网 (ネットショッピング)]
	12	第12課『日』 祝日について (1) 基本表現／会話① 文法：「怪...」／「...是...」
	13	第12課『日』 祝日について (2) 基本表現／会話② 文法：「-起来」／「-下去」／程度副詞 [閲読][中国的 日与休假(中国の祝日と休暇)]
	14	総合復習②
	15	口頭試問
	16	筆記試験
	キーワード	
	教科書・教材・参考書	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書
成績評価の方法・基準等	期末テスト（50％）、口頭試問（20％）、小テスト・課題（20％）、授業への積極的な参加（10％）などを総合して評価する。	
受講要件（履修条件）	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.